



標小だより

令和5年11月29日発行 責任者 校長 高橋知毅
URL <http://town.shibeche.ed.jp/shibeche-e/htdocs>

標小がめざす子ども像

- 自ら学ぶ子（知）
- 人のために行動できる子（徳）
- 自他を尊重する子（徳）
- 心身の健康安全に向け挑戦する子（体）



随時更新！
標小ホームページへアクセス

「為せば成る」

校長 高橋知毅



■ 日一日と寒さが増してきています。今年も残すところあと一月余りとなってきました。

先日、児童会主催の「ハロウィンパーティー」が行われました。子ども達は、可能な範囲で思い思いの仮装をして学校を練り歩き、精一杯表現して個性を発揮していました。

子ども達の豊かな発想と、自己表現、縦割り班での関係づくりなど、様々な「表情」を見ることができました。

■ さて、最近目まぐるしく進歩している科学の一分野に脳科学という分野があります。その進歩のおかげで、今までわからなかった脳の仕組みや働きがかなり詳しくわかるようになってきました。その一つに、「脳は先に答えをつくる」という研究結果があるそうです。

それは、人間の脳は「できる」と思えば「できる」方向で働き始めるというものです。「どんな方法をとればできるのだろう、どういう工夫をすれば成功できるのだろう」というように前向きに働き始めるのだそうです。

逆に「できない」「こりゃだめだ」という信号を受け取ると、できない方向でいいわけを考え、「どうせできないからやめておけ」というブレーキが働いてしまうのだそうです。単に「気持ちのもちようだ」という精神論では片付けられないものがありそうです。

「よしやるぞ！」「やればできる」と思って始めれば、脳は「どうにか成功させるぞ」と前向きな働きを始めるわけですから、よい結果を得るには明るい希望や夢、成功のイメージをもち続けることが大切だということになるのでしょうか。

子ども達の様子を見ながら、私たちの仕事や生き方にも通じるところがあるなど改めて感じたところです。

〈ちょっと一言〉

◆史上最年少で棋士界の記録を塗り替え、先日八冠を達成した藤井聡太さん。彼は中学生の時から注目されていましたが彼の「語彙（ごい）の豊かさ」には驚かされます。メディアのインタビューに堂々と応える姿からもそれがわかります。彼がよく使う「僥倖（ぎょうこう）」という言葉は、私も意味を調べないと理解できませんでした。

◆語彙が豊富ということは、使える言葉の持ち数が多いということですが、彼にとって言葉は将棋の駒に似ているのかもしれない。どの場面でどの駒を使うか、持ち駒が多ければ指す手も多くなる。自分の言いたいことを言葉にするときに、言葉を多く知っていた方がその手もぐっと広がる。自分の気持ちをあらわすのに最もいい言葉を使って、言いたいことを一層正確に伝えることができるというわけです。

◆いずれにしても、「集中して前のめりで取り組む」姿勢には学ぶところが大いにあります。

日	曜	12月行事予定	バス時刻	
			1便	2便
1	金	交通安全街頭指導	14:50	16:00
2	土			
3	日			
4	月	小中交流事業（～8日）	14:50	
5	火	標茶町学力テスト1日目 標茶町作品展（～11日午前）	14:50	
6	水	特別日課5時間授業 標茶町学力テスト2日目	14:00	
7	木	交流学習①（3年生 青森市立浪館小）	14:50	16:00
8	金	児童委員会	14:50	16:00
9	土			
10	日			
11	月	大掃除週間（縦割り班～15日） 体育授業研（3年生）	14:50	16:00
12	火	お話し会（4年生）	14:50	16:00
13	水	特別日課 英検ESG（6年生）	14:50	
14	木	放課後学習 図書館バス	14:50	16:00
15	金	中学校一日体験入学（6年生 午前） *保護者説明会は午後です。（案内配付済） 薬物乱用防止教室（6年生）	14:50	
16	土			
17	日			
18	月	大掃除週間（学級～22日）	14:50	16:00
19	火	交流学習②（3年生 青森市立浪館小）	14:50	16:00
20	水	特別日課 風っ子クリスマス会	14:50	
21	木	5時間授業	14:50	
22	金	5時間授業 終業式	14:50	
23	土	冬季休業日（～1/15）		
24	日			
25	月			
26	火			
27	水			
28	木			
29	金	学校閉庁日		
30	土	学校閉庁日		
31	日	学校閉庁日（～1月3日）		

※予定に変更があるときは、学級だより・安心メール等でお知らせします。

標茶町条例に基づく児童表彰 受賞者 17名 おめでとう！

「標茶町児童生徒の表彰に関する条例に基づく表彰」は昭和 62 年度から実施されています。(4 年生以上の学年が対象となります。)

今年度も標茶小学校から 17 名の皆さんが受賞することになりました。(努力賞 5 名、学芸賞 3 名、親切賞 5 名、体育賞 2 名、奉仕賞 2 名)

今年度は数年ぶりに 4 年生以上ではありますが、体育館に集まって晴れの舞台をみんなで見守ることができました。

町長さんから直々に賞状が手渡されると、会場からはたくさんの拍手が沸き起こりました。賞状が手渡された後には、受賞者を代表して 6 年生の代表から喜びと感謝の言葉もありました。



防災学校(11月7日) ~マイ・タイムラインを作成

6 年生が防災について学習しました。外部講師として北海道開発局職員さんや株式会社ドーコン職員さんをお招きして行われました。丁寧な説明や児童が主体的に関わる活動により進められました。

「マイ・タイムライン」とは、災害時のいざという時に、慌てずに行動するために「いつ」「どのタイミングで」「何をするか」をわかりやすくまとめたものですが、実際にこの作成の手順なども教えてもらいました。

標茶町では、津波の影響はないかもしれませんが、大雨による川の氾濫などは想定されると思われます。どの町であっても、自分が住む町で安全に暮らしていくために必要な最低限の知恵と力を身に付けるとともに、しっかりと準備に努めたいものです。この学習がきっと将来にわたって活かされることになるでしょう。



標茶町少年の主張大会(11月11日)

4 年ぶりに小学生も参加する大会となりました。標茶小学校からは 2 グループが参加しました。内容も以前のように自分の思いや考えによる発表に限らず、総合的な学習の時間で調べて、まとめてきたことを紹介する内容も可能となり、本校の 2 グループは修学旅行で訪問した帯広地区と標茶町の違いをテーマにした発表がなされました。

端末を大変上手に使って発表する様子は、本校の ICT 教育が順調に進んでいることをあらためて証明してくれるものでもありました。



児童朝会(11月21日)

巻頭言で紹介されたハロウィン・パーティーは児童会主催行事でしたが、他にも児童朝会が行われました。

各委員会からの連絡や活動に関するクイズ、生活改善に向けた発表など、よく準備されており、しっかりと伝えてくれました。今回の子どもたちの主体的な活動はとて良くて、先生方からは「もっと機会を増やしたいね。」という声もありました。



3校交流授業 ~小小連携~

磯分内小、沼幌小との交流学习も活発に展開しています。すでに高学年、低学年で実施済みですが、12月には中学年でも行われる予定があり、子どもたちも楽しみにしてくれているようです。

高学年の交流はすでに複数回に渡って行われております。11月13日の交流時には、互いにつきり溶け込んでいたり、他校の先生による授業が行われたりもしました。中学校進学に向けて、よいつながりが築かれてきております。



ハッピータイム~肩もみエンカウンター~

今年度の標茶小学校の取り組みとしてすっかり定着した「ハッピータイム」は、自尊感情や相手を思い合う心を育てる時間です。

今回は、「肩もみエンカウンター」でした。2人組みになり肩もみをしながら話をすることで、信頼体験や自己開示を目的に行いました。「リラックスして話を聞くことができた！」と笑顔がたくさん広がりました。

